

会報 あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会



東京同窓会会長 山岸光臣 高3回卒

新しき縣陵の旗もとに

新緑に映えるふるさと信濃路は、今、春爛漫の時を迎えています。

我が松本県ヶ丘高等学校東京同窓会は昭和二十二年に第一回総会が開催されて以来五十四年目を迎えました。

二十一世紀初頭をかざるこの時にあたり、第三十四回総会が高校二十三回卒業生（小松清路委員長）の献身、助力によって間もなく開催の運びとなります。顧みますと、東京同窓会の半世紀の歴史は数多くの同窓生のボランティア活動により着実に歩みを進めてまいりましたが、今やITと切り離すことの出来ない時代となった状況に鑑み、一昨年よりスタートしました東京同窓会のホームページを、本年度大幅にリニューアルし皆様へ提供できます事はまことに時

発行所
松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15
ポストインネットワーク内
TEL.0422-23-7620
発行人：山岸 光臣

旗もとに

宜に適った快挙といえます。

先般、二十五回卒のニューヨーク在住の斉藤さんから便りをいただき、インターネットの普及により瞬時に情報交換が出来る時代の到来をさとり、将来同窓会活動の進むべき方向の再検討の必要性を痛感しております。

これからの東京同窓会は単に総会による懇親だけで済ますことなく、縦横の繋がりを強化し、同窓生間の異業種交流など各種の交歓を通じ、お互いのメリツトと愛校心を分かち合えることを理想と考えます。

現在、女性の同窓生間の交流に役立つ様に、縣陵レディースの幹事役によって、年一回程度皆様に喜ばれる企画を進めております。

又、同好会組織としてのゴルフ会（アルペン会）も春秋2回開催しております。第四十五回

は四月に六十六名の参加で実施し、着実に同窓の輪を広げつつあります。軟式庭球同好会も既に発足し活動を始めており、美術同好会では六月に第二回「東虹会展」の開催を予定しております。このように同窓の輪の裾野が着実に広がることで、故郷を離れても同窓生の絆の強さ、大切さを実感できます。

そこで、今年の総会は、試みとして土曜日の昼過ぎに開催し、終了次第同期会など各種の会合が持てる時間を考慮に入れ、また女性の同窓生にも参加し易い

友と昔を語らい故郷を思う

渉外広報委員長 木幡 昌三(高13回卒)

東京同窓会総会が開かれる頃は、信州の景色は北アルプスの頂に僅かに雪を残し、安曇野の田んぼは青々とした柔らかいジュエータンが敷かれたようになり、周囲の山々の緑が映える季節になっていることだろうと故郷への思いが募る時です。

春夏秋冬、四季の豊かな信州の自然に恵み包まれて、多感な青春の日々を過ごした県陵の学びやも時とともにその姿は大きく変貌し、昔の面影は同窓会の先輩・同輩・後輩との集いの中

時間帯を選びました。

県ヶ丘高等学校東京同窓会においては先輩・後輩が相互に仕事の上でも、それぞれの力を充分生かせる体制が整いつつあります。六月の総会・懇親会は単に懐かしさだけでなく、未来に向かつて皆んなで握手し、肩を組み合う会場を提供しますので、是非とも新しい縣陵の旗のもとに同窓生皆様多数ご参集下さるようご案内申し上げます。実行委員はじめ幹事一同、皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。

友と昔を語らい故郷を思う

昌三(高13回卒)

に見出すことになってしまったかもしれません。

もう大分前のことでしたが、同窓会に行ってみようと思いついて席してみたら同期が誰もいなくそこそこに帰って来たことを思い出します。それから三・四年が過ぎたでしょうか、突然、「我々の同期で総会の実行委員をやらなければならなくなったぞ！」という知らせに、同窓会に出席した時のことを思い出して躊躇していたら、「俺たちの期で絶やすことは出来ないんだ。」と

いうことだから同窓会への係りの始まりでした。「おい、連絡を取って各組一名ずつ出せやー」「同窓会の意義って何だ、コンセプトは何にする・・・」、先輩いわく「自分達が楽しいようにやれや」と実際の準備にかかるまでに時が過ぎて行くばかりでしたが、いざ開いたら同期の者が大勢駆けつけ、盛会に一同「ほつ」としたものでした。「折角だから同期会をやるうや」が「サブロク会」と称して毎年総会の後に二次会を開いて（総会には都合がつかない人も二次会には出席する人もいる。）今日に至っています。

東京同窓会も組織体制の強化が図られ、役員の方々のボランティアで活発に運営されるようになりまして、年一回の集いだけでなく同好会、女性のための「県陵レディース」が発足し「東京湾ランチクルーズ」「絵手紙講習会」と毎年趣向を変えて行われるようになりました。又、昨年は長野県の高校同窓会で初めてホームページが開設され、より交流の場が広がろうとしています。

同窓会には先輩・同輩・後輩が集い、交流の輪を広げ、絆を深める中に「友と昔を語り故郷を思う」ことではないでしょうか。



新世紀への第一歩。

— つなげよう同窓生の絆 —



第34回東京同窓会実行委員長
小松清路(高23回卒)

第34回松本県ヶ丘高等学校東京同窓会・懇親会の開催のはこびとなり、心からお礼申し上げます。これも、ひとえに皆様方のご協力、ご支援の賜物と感謝いたす次第です。

私達が、母校を卒業しまして30年がたちました。月日がたつのは早いものです。グループサウンズとフォークが流行り、70年安保、大学での学園紛争の終焉を迎えようとしているなかで、若者達が、何か 世の中に向かって突進していた時代でした。卒業後、浅間山荘事件、オイルショックと、精神的及び経済的構造の破綻を体験することとなったのです。その後GNPを自慢したのもつかの間、バブル期を迎えた日本経済は「泡」となっていました。現在、デフレ現象にある経済状況の中で、先が見えないとか、希望が持てないとか、マイナーな思考にある人が多いのですが、我母校には、すばらしい三代精神がありました。誰もが知っている「質実剛健であ

21世紀”県陵東京同窓会” 新たな一歩

れ、大道を開歩せよ、弱音を吐くな」です。「かざりけがなくまじめであれ、根本の道理を見据えて歩け、何事も弱音を吐かず全うせよ。」と私は理解しておりますが、まさに今の時代を生きる者にとつて、大切な要素が含まれていると思われまふ。ことは自体は古いかも知れませんが、ことばの奥にある意味とエネルギーは、40代を終えようとしている私には、何かずしんとくるものがあります。おそらくこの三代精神は、時代や受け取る年代によつてさまざまな受け取り方があるでしょうが、県陵生



第34回東京同窓会実行副委員長
荒木 仁(高23回卒C組)

県陵を卒業し30年、この地で暮らし、もうこんなに時間が経過したのかと、時の流れの速さを感じる次第です。

であるという意識のなかに計り知れないパワーを発揮するのではないでしょうか。

私が東京同窓会に出席したしたのは6、7年前、同級の友人に誘われてからでした。先輩方が開催する総会、懇親会に参加した折りに、私達が取り行う時は2001年、つまり21世紀の幕開けを我々の手で行うのだと、まだまだ先のことのように話しておりましたが、新世紀の年となつてしまいました。私達は「新世紀への第一歩。一つなげよう同窓生の絆」をテーマとして掲げ、幅広い同窓生の交流はもとより、信州松本の原風景を思い出し、新しい時代の絆を探し出す機会になればと企画致しました。ひとりでも多くの同窓生に参加していただき、県陵東京同窓会が益々の躍進をとげることを祈念致します。

変感謝しております。

毎年開催される東京同窓会総会では、懐しい友に会い、県陵を思い出し、信州を感じ、数時間でもあの頃の自分に戻れる、これだけでも同窓会を続けて行く価値があると感じております。

しかし、近年、東京同窓会への後輩の参加が大変少なく、又、東京同窓会本部に於いても会を運営して行くメンバーに後輩が居ないという問題が起きております。

この事は同窓会の存在が卒業生によく知られていないのか、あるいは会に対しての見方が多少違ってきたのではないかと、本部としても対策を模索している次第です。

去年、その一つの試みとして、22回卒の御努力による、ホームページの立ち上げがあります。今年は更に23回卒の参加により、より見やすく成りました。

このホームページを使い会の活動を知って頂き、逆に意見、要望などを取り入れ会の活動方向を決める参考としたいと考えております。

ここ数年、本部に於いて女性の参加も目立ってきて、新しい兆しも見られます。更に新たな一歩を踏み出すためにも、より多くの卒業生に賛同して頂ける目標を掲げ、より身近な同窓会として活動して行きたいと考えております。

TELLY'S OFFICE

fine illustrations

<http://www.iris.dti.ne.jp/~telly>

イラストレーションスタジオ テリーズオフィス
代表 佐原 輝夫(高校23回卒)

〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋1-41-14瑞野ビル402
電話 03-3418-8444 Email: telly@iris.dti.ne.jp



SKAA
Research

有限会社 小松清路建築研究所
Co.,Ltd SEIJI KOMATSU ARCHITECT & ASSOCIATES

代表取締役 小松清路(高23回卒)
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-6-1005 TEL.03-3343-5936 FAX.03-3343-4926
1005-6-12-6 Nishishinjyuku Shinjyuku-ku, Tokyo e-mail: A.S.Komatsu@oak.zero.ad.jp



「愛のリレー事業」をお手伝いする気になったかもしれません。その感動とは……。

懇親会も半ばに差しかかった頃、30年前、他のクラスの担任だったY先生が司会席に近付いて「これ、うーん、いつか三村はこうなると思っていたよ。俺の目には狂いはなかった」と、絶妙な司会に感激されたのか、随分とおだてられました。県陵時代には一度も誉められたことがなかっただけに、妙に嬉しくて、無条件で喜んで自分の再発見したとき、すがすがしい気分を味わ



県陵二三の会・
母校愛のリレー実行委員会
委員長 三村 晃

「母校愛のリレー」事業を

お手伝いして…

5年前、同窓会(本部)定期総会後の懇親会の司会を担当させていただき、ひとつの役割を果たしたかな、と自分的には密かに思っていたところ、とんでもない要請がきました。今度は自分の能力をはるかに超えた「実行委員長」という大役。その任にあらずと固辞するも、なし崩し的に受けざるを得ない状況をつくられてしまいました。

今思うと、前述した懇親会の司会の中で、全身に感じたある感動を忘れられずにいたため、今回の

うことができました。何か失ったものを取り戻したかのように。それで、今回また、あのすがすがしさを少しでも味わいたいという「スケベ根性」が出てしまったようです。

県陵を卒業して30年経った今、「県陵」への思いは人それぞれ異なるのは当然です。このことは、今回の事業を通じても実感いたしました。私自身は、14年前に脱サラをし故郷松本へ事務所を開きましたが、極端に言えば、お得意様の7割方は県陵の先輩後輩です。こ

れらの皆様に大いに支えられて、ここまでやってこれましたので、私にとって「県陵」はかけがえのない宝物でもあります。

こんな思いを持っておられる方も少なくないと思いますが、まさに県陵の「愛のリレー事業」は、同じ学舎で多感な青春時代を過ごしたという接点が線となり、これが面に広がっていくような気がしてなりません。言い換えれば、こういうことを「絆」というのかもれません。

この原稿が読まれる頃には、我々の記念事業も無事終了し、24回

在校生を魅了した映像と音の世界。

生にリレーのバトンが渡されていくと思えますが、是非多くの同期生が参加できる方法に知恵を絞って

ていただき、「県陵の絆」をまた次の後輩たちにリレーして欲しいと思います。

4月21日(土)創立記念式典とともに県陵卒業30周年記念・第23回母校愛のリレーも式典が開かれた。開式の辞を幕開けに在校生ブラスバンドの演奏のもと校歌「若き我等」を斉唱し、新任の青山誠学校長の熱い式辞、有賀正母校愛のリレー実行委員長と小林清完同窓会長に温かい祝辞をいただいた。高校23回生の大嶋三紀夫県陵二三の会会長の心のこもった挨拶、母校への記念品贈呈へと式典は続く。そのあと、三村晃県陵二三の会実行委員長の司会により、「夢を追いつける仲間達」というテーマで23回卒業生による記念講演が開かれた。

ログからデジタルへ、趣味の世界など内容は盛りだくさん。「自分で夢中になれることを何か見つけよう、それさえ見つければ勉強はそれからでも遅くない」という言葉を在校生に贈り講演を結ぶ。

続いて、「ジャズと私、一魂との出会い」というタイトルで、講師のサククス奏者高見澤洋氏率いる5人のバンドによるミニライブへと移る。まさに魂をえぐり出すようなテナーサククスの音色が体育館中に響き渡り、列席のすべての人々を酔わせる。圧巻はメンバーのギターリスト高木潤一さんのフラメンコギターの素晴らしい音とテクニク。スローバラードやジャズのスタンダードナンバーなど予定の4曲を、時の経つのも忘れるほど聞き入る。演奏の終盤に在学中にも音楽活動を楽しんだ佐原氏もやや控えめにセッションに加わり、ミニライブは終了。



まず、講師にイラストレーター
の佐原輝夫氏を迎え「イラストレーションの世界に魅せられて」というタイトルのもと、パソコン映像が壇上のスクリーンに映し出され、氏の
仕事を紹介しながらの講演が始まる。現在の足跡、イラストターの仕事、アナ

最後に生徒代表の謝辞、女生徒から講師2人に花束が贈られ式典は幕を閉じた。スクリーンに映ったビジュアルの世界、プロのジャズバンドによる生演奏。多感な今どきの高校生が目と耳を刺激し魅了した今年の講演は、どうやら成功を取ったようだ。

取材・広報編集委員会 荒木仁
(高23回)

内装工事・設計施工

インテリアARAKI

荒木 仁 (高23回卒・C組)

☎03-5384-3261 ☎03-5384-3297

メールアドレス:h-araki@ma3.justnet.ne.jp

私たちMAPのテーマは

Human Network

●マーケティングプラン ●コミュニケーションプラン

総合企画事務所エムエープラン

代表 三村 晃(高23回卒)

〒399-8204 南安曇郡豊科町大字高家1137-138
TEL.0263-73-7826 FAX.0263-73-7863
maplan@pop02.odn.ne.jp

県陵・新世紀の旗手達



学校長 青山 誠

●初めに ―ご挨拶―

遠く信州を離れ、首都圏でご活躍の同窓生各位にご挨拶申し上げます。県陵の地を離れられても様々な形で熱い母校愛をお寄せいただいていることに感謝と敬意を表します。さてこの度、太田喜幸校長先生の後、輝く伝統と実績を誇る本校に着任いたしました。私は大阪府豊中市で生を受け、高校時代までこの豊中市という商都大阪のベッタタウンで過ごしました。長野県には理科の教員として初めに赴任し、大阪弁がなかなか抜けないうままに教壇に立ちました。深志高校を皮切りに県内各高校を転々として、この度東信地区にあります藤科高校長より転任いたしました。歴代の学校長が本校の卒業生であったり、或いは以前ここに勤務した経験をお持ちの方が多い中で、そのような経験を持たない者かと思ひ、内心忸怩たるものがあります。幸い同窓会長小林清完氏はじめ役員の皆様方、或いは

本校OB職員の方々には親しくお話をさせていただく中で、本校三大精神の精髓とその具現化された姿を学ばせていただいております。まずは県の森の根っこの部分を早く我が物とし、21世紀の旗手たる県陵生の育成に微力ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

●翻れ県陵健児 ―102名です―

例年になく大雪に見舞われた冬を超え、この春ヒマラヤ杉の巨木を抱く学窓を巣立った卒業生は321名です。その内、102名の生徒が首都圏の大学等に進学いたしました。ここに3名以上の進学者のあった大学を列記してみます。法政大・明治大・青山学院大・成蹊大・東京農大・東洋大・日本大・横浜国立大・中央大・津田塾大・東京経済大・立教大・神奈川大です。早稲田大・慶応大にも進みました。3名には至りませんが、この県陵魂を胸に秘めた卒業生をどうかよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

うしろから私の肩を押えながら、「こらッ」と呼ぶ太い声に驚いて振り返り向くと、身体の大きい小松武平先生が突っ立っていた。

昭和三年の秋、旧制松本高校の思誠寮の記念祭で私達寮生は例年のように街の中にデモをかけ、そのデモ隊が目抜き通りを動いていた。思誠寮の全寮委員長だった私はパンツ一つに白鉢巻で石油缶を引きずり、デモ隊の先頭におどつていった。すると、先生は私を引張って四柱神社前に連れてゆき、私をにらみつけたら厳然として言はれた。「お前は松本高校に入学して得意に



小松武平校長先生のこと

東京同窓会名誉会長 樋口 和博 がら寮の方へ歩

なっているだろうが少し考え違いをしておらんか。街の人達がどんなに不愉快な気持ちでこのデモ隊を見ているかを考えたことがあるか。街の人達の迷惑なども考えずこんな乱痴気騒ぎをしていてそれでいいのか。私は松本第二中学校で前達を教育したが、決してこんな人間になる教育をしたつもりはない。直ぐに寮へ帰りました。さあ急いで帰りなさい。」と言いながら先生は寮のある方向に歩き出した。先生からのお叱りを受けている間にデモ隊はさっさと遠くに動い

てしまい今更そちらに行くわけにもいかず、しぶしぶと先生のあとについて歩き出した。私がデモ隊の流れから離れてみると、汚いパンツに白鉢巻で石油缶をガラガラと引きずる小さい男が六尺豊かな小松先生の後ろからついてゆく凶はまことに見られたものではない。街行く人達はこの異様な二人の様子がものめづらしく、子供達がぞろぞろとあとからついてくる。

すると何を思ったか先生は、「その缶を持って」とおつしやる。身体の大きい先生が石油缶の上の端を持ち、下の端を小さい私が持つとバランスがとれて、二人で空の

の前に辿りついて石油缶をおろした。二人は押し黙ったまま思誠寮の玄関には数十足の下駄が散乱し、足の踏み場もない。先生は唯一言「下駄はきちんと下駄箱に入れておきなさい。」と言ひ残したままさっさとお帰りになって了った。私はそこに放置してある下駄を一足づつそろえて下駄箱に入れながら涙がこぼれて仕方なかった。今から七十余年前の出来事である。

降る雪や明治は遠くなりにけり、素十

<p>松本市長 有賀 正 (高2回卒)</p> <p>松本市役所 〒390-8620 長野県松本市丸の内3-7 ☎0263-34-3000(代) Eメール: tegami@city.matsumoto.nagano.jp</p> <p>自宅 〒390-0825 長野県松本市並柳1-2-10 ☎0263-25-4848(代)</p>	<p>弁護士 樋口 和博 (中1回卒)</p> <p>事務所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-5 市ヶ谷法曹ビル203号室 ☎03-3230-4005</p> <p>自宅 〒157-0067 東京都世田谷区喜多見町5-21-15 ☎03-3416-2904</p>
--	--



母校八十年祝の成功のために

松本県ケ丘高校同窓会

会長 小林 清完

例年になく寒さと雪の多い松本

平も三月中旬からようやく春めいて参りました。

東京同窓会の皆様新世紀をお元気で迎えられ同慶の至りであります。

私共の母校「松本県ケ丘高校」はあと三年で八十年を祝う年となります。

「平成十五年十月十一日(土)にメ

インの記念式典を行うことと決定しました。東京同窓会の皆さん今

から都合して松本まで御足労の程お願い致します。

●「募金：一億円」の達成を

昨年夏から募金をお願いを始めこの十二月までを期間としており、順次納入願っております。

この二月末日で二六〇〇万円(達成率二十五%)これから御協力願う方はどうか早めに同窓会事務局

か年次代表を通じてなり納入下さるようお願い申し上げます。

事業計画を確定するまでに見とくしを立てたいわけで大変勝手をお願い致しますが、御協力を心からお願い申し上げます。

別)篤志家のご寄附もお願いする計画であります。

●行事の概要

学校・PTA・同窓会で構成する実行委員会(会長松本市長 有賀正)で御共労下され、立案と作業が進行しております。

(一) 総務委員会
○記念式典・祝賀会外
平成十五年十月十一日(土)

(二) 広報記念誌委員会
○八十年史発行(約十頁外
母校関係資料をおよせ下さい。

(三) 企画委員会
○体育館の改築(同窓生三人の県議さんのお力などで長野県が十五年春までに完成して下さい)

○校内外の整備

○学習室の新設(同窓会館の西隣りに二階建の計画)

○美術展・音楽会・スポーツなどです。ご提言下さい。

(四) 財務委員会
○募金目標額達成外
詳細は五月発行の同窓会報で

●本部同窓会本部外
本部同窓会は六月二日十七時松本勤労者福祉センターでおこないます。

御出席をお待ちします。
三月三日 三三一人の卒業式新

会員の皆様をお願ひします。
東京同窓会の御発展と八十年祭の成功のため格別のご協力をお願い申し上げます。

い申し上げます。

住・転々の記

濱 一昌(高8回卒)

何時の間にか還暦を通り越し、振り返ってみますと我ながら住まいの移動の多かつたことと思いません。

父が警察官であったためもありますが、昭和十三年一月に木曾上松町にて出生、上田市、長野市、上

諏訪市、伊那市の幼少時代の記憶は途切れていますが、茅野市で国民学校の一年生、当時、六斗川で

遊んでいたときに川に落ち、釣りに人に助けられ命びろいしました。

その後、飯田市、松本市岡田、田町小学校では藤棚から落ち足を

骨折、安曇野の豊科町から松本市

県町へ、縣陵の校庭が遊び場でした。源池小学校を卒業しましたが、

小学校は六回の転校を経験、一人遊びが身について今の性格が出来上がった様です。

清水中学、県ケ丘高校は日出町の実家で過ごし東京へ。

銀行も転勤の多い職場で、一度大阪に転勤し、関西での楽しい思い出がいくつかあります。

銀行では三ヶ所(西永福・芦屋・富士見町)の寮生活、結婚し

三鷹のアパートから東久留米市滝

山の公団住宅、新所沢の建売住宅、東村山では二人の子供が育ち、平



成九年に所沢市郊外の農村地帯に終の住まいを建てました。

故郷を離れ約半世紀、囲炉裏端で、信州の酒といなご蜂の子を肴に、友人との語らいを楽しみに過ごしています。

これからも「信濃健児」の名に恥じない人生を楽しもうと思っています。

信濃健児は昔より
律儀廉恥を重んじて
剛毅敢為の性に富み
卑怯柔惰を恥すると言う
世の文明は進めども
改むべしや此の遺風

国際ラ・テ製作株式会社

代表取締役
会長

大澤 清重

(中)13回卒

(株)エフエム東京 顧問
(財)蓮根文化会館 理事長
(学)千葉国際学 園理事

〒174-0046 東京都板橋区蓮根2-13-9
☎03-3966-5481

山岸光臣法律事務所

弁護士 山岸 光臣
(高)3回卒

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-14
第2東ビル8F 801号室
☎03-3255-2700 ☎03-3255-2709



過ぎ来し方を振り返ると、人生が変わるほど決定的な転機が私にはあった。

転機その一。昭和二十五年、農家の長男の私は、農業高校を受験するのが当然視されていた。しかし、好きな英語を存分に学びたい気持ちから、中学の担任の先生と私とで頑固な祖父、両親を説得し、県ヶ丘に志望変更した時は、願書提出直前になっていた。入学前から県陵に愛称

わが人生の時の時

吉田 一雄 (高5回卒)



「今迄本校に教生は大勢来たが、このように言われたのはお前だけだ」と付言された。予期せぬ生き甲斐を感じた瞬間だった。私に教師になる決断をさせたのは、ほかならぬ母校の後輩だったのである。

分からせたい願いから、先生の英語指導は厳しく、教室は即道場であった。説明はもとより、指示も気晴らしの雑話も総て英語。要するに、授業は英語のシャワーを浴びることであった。私が英語を専攻するにあたり、三浦先生の影響は大きく、有難かった。

幸運にも、後年教師として二回に亘り通算十四年間、母校にお世話になった。「第二のサンポになれ」、このことは高木宏之先輩(高3回卒。在校時英語研究部々長)から贈られた励ましであるが、亡き師はあまりに偉大であって、私はいまだに日暮れて道遠しである。心のふるさと県陵に感謝し、報恩に生きたいと思うこの頃である。

だいた。旧制松本二中で三浦先生の教えを受けた松沢喜代美先生(中一回卒)の講座で実習をした。担当した二年生の講座(高10回卒)には、K君(歌手兼俳優) N君(県高野連元理事長) T君(松本市議等、前途有望な生徒がきら星の如くいた。実習中のある日。英語の教生がこのまま県陵で教え続けるように県教委に依頼してください、と松沢先生に頼みこんだ生徒たちがいた。



県陵の来し方を想う

佐藤 仁

未だに夜明け前であった南木曾の蘇南から県陵に赴任したのは昭和三十六年四月のことだった。私の三十二歳から四十五歳までの十四年間で、人生の最良の期間、充実した毎日を県陵という楽しい舞台で思う存分に活動することができました。この間、よき先輩、同僚の先生、意欲を燃やす生徒、温かい目で見守ってくださった父母、こうした皆さんに対して、今はただ感謝の念で一杯です。私の中高の母校は昭和四十六年に廃校になったので、県陵を我が母校のように愛している。

ひく松澤喜代美先生、化学の長崎門十郎先生、国漢の川上栄昌先生、後三先生は故人となられたが、どの先生も一本筋の通った骨太で人情に篤い実におい先生たちでした。この先生たちに親しくお世話になり改めて感謝いたします。

さて県陵と言えば、先ず小松武平先生の三大遺訓を思う。この遺訓は私の人生の座右の銘になって今日まで私を正しく導いてくれました。次に忘れ得ぬ名物先生がいました。男らしさとフェアプレーを重んじる精神からサッカーは校技となった。そんな中から渡辺三郎先生は日本のサッカー界に名選手を送り出した。バスケの常勝監督としてこの春全日本バスケネット協会から表彰された茅野慎男先生、高野連の役員として活躍していら

れる奈良井宏美先生、求策の血を



草津・温泉保養公園

- 温泉・和洋室(全室バス・トイレ付)・レストラン(和・仏・中・伊)・カフェ 他
- 露天風呂
- 露天風呂・温泉大浴場・西洋浴池館「テルメテル」
- テニスコート
- 森林浴・エステティシャン・アサリ・温泉聖体・中国足心道(フットマッサージ)
- スキー
- アイアンゴルフ・バスターゴルフ・テニス・スイミング・スキー・サイクリング・ボウリング

草津・温泉保養公園中沢Vレッジ **ホテル ヴレッジ** 〒377-1793 群馬県吾妻郡草津町 618 TEL.0279-88-3232/90

代表取締役 中沢 秀雄 (高校3回卒)

松本県ヶ丘高校同窓会の皆様は、特別にご優待させて頂きます。東京予約センター (担当中沢) お気軽にお問い合わせ下さい。 **03-3252-3396**

いろいろな乗り物で天下の箱根を気ままに回遊!

箱根フリーパス

箱根登山電車・箱根登山バス・ケーブルカー
箱根観光船・箱根ロープウェイ・小田急高速バス

箱根登山鉄道株式会社

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1丁目5番3号 電話0465-24-2111

取締役社長 平沢 和久 (高9回 昭和32年卒)



エコロジ

安藤文哉 (高23回卒)

母の熱心さのおかげで物心ついた頃には泳ぐことだけには自信があった私は、県陵に入ると当然陵泳会に入部した。プールをほとんど独占できる立場にあった水泳部は、練習もせずに子供のようによく遊んだ。その中にスノーケリングがあった。とはいえ今のようなスノーケルが存在しない当時はただ単に水中マスクをつけて潜るだけという簡単な遊びだったが。今思えばバカバカしいがコンタクトレンズをしたままプールに飛び込んだ友人のレンズに賞金がかかりマスクをつけて探したりもした。

上京してから夏が待たずしく、結婚後は妻の実家の三浦海岸にほとんどの週末を過ごし、いつしかウエットスーツを着込んで冬の海、ダイビングを職業とする自分に本当の自分を見出した。

20年間地球儀を眺めながら海に潜り続け、生命体としての地球の

中で海の偉大な役割を認識し、そしてその衰えを目撃してきた今、最近のエコロジブームには積極的に関わって行きたいと思っている。

しかしながら言葉だけが先行している感否めない。海に平気で煙草の吸殻を捨てるインストラクター。弁当の残りをダンボールのまま海に捨てる船頭等あげればきりがない。

「魚は煙草を吸いません」等言い続けてきたものの本当に人々の意識の中に浸透しているかは疑問である。ダイバーでなくとも旅先のホテルの大浴場で、水を流しっぱなしにしながら体を洗う人など人間の生活の糧を浪費している人のいかに多いことか。

潜水指導団体は、教育システムと教材の完備等を雑誌で派手に宣伝するが、環境を楽しむダイバーの環境への配慮指導はどうなっているのだろうか。

初期の段階で海と地球への尊敬の念をしっかり叩き込むよう願ってやまない。エコロジとは地球規模の話であるから、我々は地球人であるという自覚が求められる。交通手段・通信手段は発展し地球はさらに狭くなるのは必死だ。

月並みではあるが我々自身と子孫のためにも人間は地球無くしてはなりえず、その地球を毎日食べながら生きていくという自覚が必要ではないだろうか。

お蚕さま、蛙、ミミズ、消ゴムも入っていたかもしれない。白虹会(美術部)の新人歓迎コンパの時、先輩方の作ってくれたカレーライスです。そのカレーの横には大きなドンブリがありました。

『三十年で時効?』

奥田 保 (高23回卒)



へ行っても良いのです。寒い冬、薪が足りない時、どこかの教室から勝手に頂いてきて、美術室の「ムロ」に隠しておいても良いのです。

木炭アッサンでは消ゴムの替りに食パンを使います。県陵近くのパン工場へよく買いに行かれました。ついでも買ってくるのが一俵分のパンの耳です。ジャムやクリームのついているのは先輩用でした。悪い事を教えてくれたのは先輩方なのに、「たるんでいる」そうで、美術室に正座させられた事が何度かあります。僕もナマイキだったのかもしれませんが、殴られた事もありました。美術室の床は冷たくて、痛くて……。

純さん!お元気ですか? そんな恐ろしい部長に向かって「黙れドレー」の一言で、ほんとうに黙らせてしまった、もっと恐い先輩もいました。この一言は大学に入ってから有効に使わせて頂きました。教えられた事は他にもいろいろあります。夏の暑い時には、授業をサボって市営プール

歯科・矯正歯科

金井 歯科 医院

金井 秀樹 (高23回卒)

小金井市緑町 5-21-22-102号

TEL.042-384-5235 FAX.042-301-6011

生演奏の店 お尚&パトラ



高見 沢 洋 (高23回卒)

東京都中央区銀座7-3-8 銀座DSビル 4階
03-3289-7005



新世紀への第一歩。 — つなげよう同窓生の絆 —

この紙面への掲載をもってお礼の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。

高23回 井垣孝夫 清水中学 松本市	高23回 奥原明彦 安曇中学 新宿区	高23回 滝沢健二 筑北中学 八王子市	高23回 宮坂保徳 山辺中学 伊奈町	高26回 須沢 洋 丸の内中学 小金井市
高23回 井上裕美子 丸の内中学 杉並区 (大蔵)	高23回 金井宏水 梓川中学 西東京市	高23回 立澤文啓 清水中学 北区	高23回 森田哲也 清水中学 横浜市 (今西)	高26回 大橋美久 丘中学 中央区
高23回 上原紀夫 清水中学 横浜市	高23回 小林哲彦 山辺中学 牛久市	高23回 田中精一郎 清水中学 世田谷区	高23回 吉川 修 旭町中学 新座市	高29回 横田尚江 丸の内中学 東村山市 (木下)
高23回 大蔵佳代子 丸の内中学 松本市 (松本)	高23回 清水由美子 開成中学 横浜市 (中島)	高23回 永田 清 高綱中学 世田谷区	高24回 塩原孝英 塩尻西部中学 中央区	高30回 百瀬武利 筑摩野中学 川口市
高23回 太田更三 女鳥羽中学 松本市	高23回 珠玖朋子 女鳥羽中学 三鷹市 (百瀬)	高23回 蜜澤純二 清水中学 横浜市	高24回 鈴木利江 旭町中学 川崎市 (間島)	卒業回/あいうえお順 敬称は略させていただきます。
高23回 岡田義仁 旭町中学 品川区	高23回 高橋延子 信大付属中学 上福岡市	高23回 林 慶子 丸ノ内中学 調布市	高25回 高嶋知由 伊那中学 市川市	

祝・第34回東京同窓会
ご盛会を祈ります

男子・バレー部OB一同
(在京・高12回、高13回)



株式会社 セイトク

代表取締役 宮川 政男 (高12回卒)

〒243-0434 海老名市上郷1丁目5番35-704
TEL.046(233)8977 FAX.046(234)0606
E-mail:seitoku.1416.mr@nifty.com
神奈川県知事(10)第5740号

珊瑚会

昭和35年卒業(第12回)

会長 勝野 憲昭
TEL.048(781)9131

幹事長 百瀬 興一
TEL.048(268)3613



ARC PLANET

バンクーバーからダイレクトにお届け
日本とカナダの建築士が設計する多彩なデザインの注文住宅

NEWS 消費者のためのカナダ住宅見学ツアー
バンクーバー6日間 参加者募集中!

詳しくはホームページを <http://www.arcplanet.co.jp>
株式会社アーク・プラネット 高嶋 知由 (高25回卒)
本店:市川市 一級建築士事務所・調布市&カナダBC州バーナビー市



鳥羽クリニック

内科・胃腸科・肛門科

院長 鳥羽 昌仁 (高22回卒)

〒157-0066
東京都世田谷区成城6-6-9 成城サウスビル2F
☎03-5490-9351(代)

ゴルフ会員権の
ことでしたら
何でもお気軽に

関東ゴルフ会員権取引業協同組合員

株式会社 **ゴルフ・プラザ**

代表取締役 山本 靖弘 (高13回卒)

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-4-11
☎03-3271-2155 ☎03-3271-2133



イベントとともに50年。

エービーシー株式会社

代表取締役社長 大嶋三紀夫 (高23回卒)

松本本社/〒390-0874 松本市大手1-9-23 TEL 0263-36-2111 (大代表)
長野本社/〒380-0928 長野市若里2-9-20 TEL 026-228-0200 (代表)



祝 第34回東京同窓会・総会

このたびは、第34回県陵東京同窓会・総会にたくさんの方々のご協賛をいただきました。

中1回 樋口 和博 辰野町 世田谷区	高3回 金森利彦 松本第二中学 横須賀市	高6回 平野 良 樋川中学 文京区	高11回 栗山英毅 樋川中学 練馬区	高23回 青木良二 豊科中学 横浜市
中15回 浅輪 彰一 松本市 横浜市	高3回 山岸光臣 四賀村 調布市	高7回 桐原俊文 丸の内中学 長野市	高13回 木幡昌三 清水中学 多磨市	高23回 阿部智廣 塩尻中学 葛飾区
中15回 小林清完 松本市 松本市	高3回 西村昌三 松本第二中学 横浜市	高8回 中町正幸 女鳥羽中学 中野区	高13回 塚原三千男 洗馬中学 相模原市	高23回 荒木 仁c 豊科中学 世田谷区
高2回 大澤正市 入山辺村 横浜市	高4回 小林 全 南安曇農業高校併設 大田区	高8回 濱 一昌 清水中学 所沢市	高13回 南山詔平 丸ノ内中学 杉並区	高23回 荒木 仁i 女鳥羽中学 小金井市
高2回 三村和久 塩尻市 北区	高4回 吉池久守 松本第二中学 牛久市	高9回 西村 久 王滝中学 逗子市	高15回 岡江正己 大町市立常磐中学 練馬区	高23回 安藤文哉 丸の内中学 町田市
高2回 横川昭次 豊科町 横浜市	高4回 和滝利清 東京都 墨田区	高11回 江森文武 聖南中学 市川市	高20回 和合治久 旭町中学 狭山市	高23回 池井明水 堀金中学 豊科町(青柳)

Mutsumi 六三印刷株式会社

- 商業印刷(カタログなど)
- 文書&書籍印刷(一般広報誌など)
- 事務用印刷(出力帳票など)

取締役会長
島村誠八郎(中20回卒)

印刷物全般のコンサルティング、
プランニングおよびプロデュース等
ご相談下さい。

〒135-8563 東京都江東区潮見2-4-18
☎(03)3699-0063 FAX.(03)3645-6300

Be Factory

ビー ファクトリー

彫刻家

中村茂幸(高27回)

アトリエ

〒123-0824 東京都足立区鹿浜1-13-19
☎03-3857-8155 ☎03-3857-8795
E-MAIL be-fa@onyx.dti.ne.jp
http://www.onyx.dti.ne.jp/be-fa/

医療法人社団 梓会

- 一般歯科
- 口腔外科
- インプラント
- 審美歯科

古畑歯科医院

理事長 古畑 升(高22回卒)

〒107-0052
東京都港区赤坂6-15-1 ミツワビル2F
☎☎03-3587-1823

はんこや

(有) 木下製印社

専務取締役 **木下 匡晃**(高35回卒)

Mesateru Kinoshita

横田 尚江(旧姓木下・高29回卒)

Naoe Yokota

URL <http://www.han-ko.com>

E-mail hankoya@po.mcci.or.jp

〒390-0874 長野県松本市大手 3-3-5 TEL.(0263)32-2665 FAX.(0263)36-2665

人事・総務の“業務改善”支援

HUMAN NETWORK ビジネスネット

株式会社 ビジネスネットコーポレーション

代表取締役 **降旗 真寿幸**(高22回卒)

<http://www.busnet.co.jp> TEL: 03-5444-3066

株式会社 草風館
館主 内川千裕(高7回卒)
東京都千代田区神田神保町三二〇
TEL03-3262-1601 FAX03-3262-1602
<http://www.sofukan.co.jp>
e-mail:info@sofukan.co.jp

9 お問い合わせは左記までどうぞ、
「案内書」をお送りします

- 1 原稿をお作りください
- 2 原稿作成のお手伝いをします
- 3 造本のイメージをお決めください
- 4 概略の費用をお見積もりします
- 5 契約いたします
- 6 校正刷りをいたします
- 7 本ができて上がるまで
三カ月ほどかかります
- 8 全国の書店に配本する
こともできます

◆本ができるまでの取組
1 原稿をお作りください
2 原稿作成のお手伝いをします
3 造本のイメージをお決めください
4 概略の費用をお見積もりします
5 契約いたします
6 校正刷りをいたします
7 本ができて上がるまで
三カ月ほどかかります
8 全国の書店に配本する
こともできます

協同出版のすすめ

◆豊かに積み重ねたあなたの人生体験やわが家の歴史を次世代に伝えるために、また旅の紀行文集、エッセイ集などの本を記念のために「協同出版」しませんか。誠心誠意お力になるよう努めます。
◆本ができるまでの取組
1 原稿をお作りください
2 原稿作成のお手伝いをします
3 造本のイメージをお決めください
4 概略の費用をお見積もりします
5 契約いたします
6 校正刷りをいたします
7 本ができて上がるまで
三カ月ほどかかります
8 全国の書店に配本する
こともできます

◆草風館は、一九七九年に創立して、韓国・朝鮮、中国、台湾、樺太などの日本の周辺地域と日本の各地がかかえる諸問題をとりあげた書籍を刊行してきました。そのなかで「開書水俣民衆史」(岡本達明編著全五巻)は一九九〇年度、毎日出版文化賞特別賞を受賞しました。また北海道、東北地方のアイヌ語地名の研究の第一人者・山田秀三先生の著作はすべて小社で刊行しております。さらに植民地・朝鮮で柳宗悦に連なる「民藝」の価値を発掘した浅川巧(甲州出身)の「浅川巧全集」はNHKや芸術新潮の特集で取り上げられました。小社はこれまでは商業出版だけでしたが、これから「協同出版」という新しい分野で、皆様の「本づくり」のお手伝いをいたしたく、ここにご案内申し上げます。



Kenryoh Ladies

絵手紙講習会

百瀬 民江 (高17回卒)

パソコンに向かって仕事をし、パソコンに向かって友人に便りを出す……。そんな日々、なんとなく落ち着かないものを感じていたある日、県陵レディーズから一通の案内状が届いた。「絵手紙講習」への誘いであった。心を動かされた。

当日、三十数年ぶりに買い求めた絵筆を携え、会場に向かった。参加者は先輩から後輩まで二十名余り。ほとんどが初めてお会いする方々であったが、皆がああひまらや杉に囲まれた学舎で青春を過ごしたと思うと、それだけで懐かしい気分が漂う。

絵手紙の題材は野菜や果物。持ち寄ったピーマン、人参、柿等を並べ、福岡明子先生の歯切れのよい指導のもと、恐る恐る筆を取る。筆先に絵の具を含ませておろす瞬間、何とも言えない緊張感が走った。周りの誰もが高校時代にタイムスリップしたかのように、ひたむきな表情だ。辛口の講評も戴いたけれど、手に実感のある一時であった。

池田 一子 (高18回卒)



以前から家の近くの郵便

局に、絵手紙が飾られており定期的に違った作品に変わるのです。行く度に楽しみに見ていました。一人一人違った観点からの絵は、思わず笑みがこぼれました。それを自分が、書く事になろうとは。絵心のまるでないこの私……がです。

有難い事に、出不精の私を誘って下さった友達に感謝しつつ、厚木から久しぶりに、東京へと向かいました。先生は、とても気さくで楽しい方でした。筆の持ち方、書き方等教えて頂き、早速書き始めました。「大胆」と言う事なので、あつと言う間に四枚書き上げてしまいました。題材の野菜をそれぞれが持ち寄り、貸したり借りたり、まるで学生時代に戻った様でした。同窓生の中には、一度もお会いした事のない方も沢山いましたが、県陵出身と言うだけで、妙に親近感を覚えてしまいます。それが、こうした会の良さだと、つくづく思います。講習会の前に雑談しながら頂いた食事も美味し

「癒されて」伊藤 みどり (高22回卒)

老いる事。そして、痴ほうや高齢に伴う障害は、多かれ少なかれ、誰にも訪れて来るものです。そんな人生の着陸地点、どのように着陸するか？そして、その後をどのように過ごして行くか？そんな思



く、役員の方々の御苦勞に感謝しつつ、さて次回は、と思いつら帰途に着きました。

が、今は、介護保険をにろうホームヘルパー兼コーディネーターとして、介護ステーションで働いています。毎日毎日、いろいろな方々と接して、日々新しい発見と驚きの連続です。そんな中で、強く感じていること、それは、利用者

インテリア商品総合卸

株式会社 東信商会

青柳 善久 (高20回卒)

本社
〒143-0025 東京都大田区南馬込3丁目22番2号
☎(03) 3777-1045 ☎(03) 3777-1046

マニフェスト

(株)ハイファンドクロス・M・コンサルタント

飯沼 税務会計事務所

代表取締役・税理士 飯沼 英男 (高19回卒)

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-66-2 三上ビル 5F
TEL.03-3269-8249 FAX.03-3269-8289

PIN POST IN NETWORK

ネット化されたポスティング・システムで新しい価値を提供するピー・アイ・エヌ

株式会社 ポストインネットワーク

敏速・丁寧・格安!DM、郵便の発送代行は当社におまかせ下さい。

代表取締役 **村越 政雄** (高21回卒)

本社
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15 室岡ビル2F
☎0422-23-7620 ☎0422-23-7630

練馬センター
〒180-0004 東京都練馬区谷原4-20-40 増田倉庫D棟
☎03-3904-8418 ☎03-3904-4050

データ管理・インターネット
御社のIT革命のご相談は

M&M
M and M Inc., Inc.

有限会社エムアンドエム
代表取締役 村越 政雄 (高21回卒)

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15 室岡ビル2F
☎0422-23-7901 ☎0422-21-7966



Kenryoh Ladies

のに、逆にこちらが癒されているという感じです。

私が訪問しているOさんは男性ですが、少々耳が遠いため、周りからは、頑固で、痴呆と思われるわれています。大きな声で話せばキチンと受け答えも出来るのですが、よく聞こえないと面倒なので、「いいよ、いいよ、なんでもいいから」と、投げやりになったり「なんだよー」と、どなったりするので、そんなところから痴呆と思われるってしまうのです。自分の思いが真直

いまどきの授業って？ 清水由美子(高23回卒)

人の話を聞く際の若者の態度についてあれこれ言われることが多い。今年の成人式の騒動は記憶に新しいが、大騒ぎした若者も、例えば入社式などであつた騒ぎを起こしたりはしない。結局はその「場」が彼らにとって「軽い」ということなのだろう。

学校の授業などというものもかなり、軽い部類に入る。若者にとつて痛切ではない「場」で、どんなに面白く役に立つ(と、話し手が考える)話をした所で、やはりそれは送り手の自己満足でしかない。となれば「軽い」場を彼らにとって「少しは重い」と感じられる場に造りかえていくほかない。

ぐに相手に伝わらず、痴呆の扱いをされ、さぞかし本人はもどかしい思いをしていたと思うのです。

ポランティアの時と違って、介護保険では色々な制約や、矛盾があつて、思うようにいかないこともあるのですが、利用者本人、あるいは家族から「ありがと。助かったわ」と言われると、悩みも吹き飛ぶのです。そして、生きる事の尊さ、大変さを目の当たりにして、自分の生活も見直して行かなくてはと思つています。

「ということだろうか。例えば、地域住民と教員、学生のメーリングリストを構築し、今までにない地域と大学との関係を造つていく」とか、「ベンチャー企業の経営者を授業に招いて現場の話聞いたり、研究会に混ぜてもらつたり、学生が商品のモニターになつたり」といった、産・学・の連携に力を入れる」とか、「環境共生住宅を実際に見に行き、居住者に定期的インタビュする」など、つまり、学生自身が身体を動かして何かを得ていこう、という姿勢である。

「メディアと表現」関連を担当する私の授業でも、メディアが変わるのに伴う表現の変化を調査するだけでなく、調査から得られた結論を盛り込んだコンテンツを作成し、発信する、というようなことを行つたりする。例えば一つの二



ユースを伝統的な紙媒体で提供する場合と、Web上、携帯端末上で提供する場合とは、同じニュースでも提供の仕方を変える必要がある。こうしたことを調査し、頭で納得するだけでなく、自分で実際に造つてみるのである。

「自分でやった」を重ねるうちに、授業というかなり「軽かった」場が自分にとって「重い」場になつていった、などということになれば最高である……と現実半分、夢想半分に書いてきたが……あつ、また最前列かららかな寝息が!

健康ですか?
悩んだり あきらめる前に

松本 整体

〒168-0082 東京都杉並区久我山5-8-17
(京王井の頭線久我山駅前)
TEL 03(3332) 5725 (予約制)
院長 久保田昇子(高18回卒)

株式会社日本ビルワーク

常務取締役 三澤 政興
(高18回卒)

Saving Your Property and Life.
(土地・建物管理、リフォーム、不動産仲介
不動産コンサルティング
ファイナンシャルプランニング)

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-7-5
糸平飯田橋ビル4階
TEL 03(5684) 9977 FAX 03(5684) 9493

株式会社 タイガー

タイガー印スポーツ用品

代表取締役 奥原 輝男
(高15回卒)

東京都文京区湯島3-13-8湯島不二ビル301号
〒113-0034 TEL (03) 5812-0733

旭化成株式会社
住宅事業部門 住宅特販営業所

家づくりをお考えの方はご相談下さい。

ロングライフ住宅。

ヘルハウス

所長 樋口 哲 (興隆28回卒)
宅地建物取引主任者

〒160-8345 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル10F TEL 03-3344-7791 FAX 03-3344-7793
E-mail: higuchi.tb@om.asahi-kasei.co.jp 土・日・祝祭日(火曜・水曜定休)



母校県陵の近況

村上重義(高23回卒)

母校、県陵に勤務して早くも八年が過ぎ去った。因らずも私の在職期間で最も長い学校となった。そして今年、県陵を卒業して三十年、四月二日の開校記念式典には「母校愛のリレー」を実施する立場ともなった。その運営を、二・三回卒の皆さんが「二・三(ふみ)の会」という実行委員会を組織して、一所懸命準備に当たられております。

また、当日は、佐原輝夫氏と高見沢洋氏の同窓会による講演と演奏も予定され、イラストやサックスを通じて、両氏のすばらしい人生が生徒に語られることと期待しているものです。

一方、東京同窓会では六月の会の運営のためにやはり二・三回卒の皆さんが準備を進めておられ、非常に頭がさがり、敬意を表するものであります。私は良き同窓生に恵まれたと感謝し、力不足ではありますが、一同窓生として出来る限りはと思っておるところです。続いて、母校の近況を少し報告いたしますよ。

施設関係では、創立八十年にむけて、大体育館の改築が決まり、来年度より、その工事が始まる予定です。朝夕の

部活、県陵祭などのさまざまな学校行事に、慣れ親しんできた校舎がまた一つ新しく生まれ変わります。四〇数年経ち、今や老朽化が進み、改築となったものです。

在校生の様子では、一学年の規模が三二〇名(三年は三六〇名)で、約半数が女子です。男女共学そのものとなっております。

部活では、全国総合体育大会に山岳部と陸上部の平林瑠美さんが出場活躍し、全国総合文化祭に白虹会の上条昌美さんが出品、現代社会研究会・新聞部が郷土研究部門に参加した。

進路では、信州大学をはじめ国公立大に八〇名ぐらいが進学、私立大学には、早慶上智からはじまって、一〇〇名ぐらいが、毎年現役で進学を果たしている。

さて、創立八十年に向けて、県陵の八十年史を編集しようと準備が進められています。私もその末席に参加させていただいておりますが、当時を偲ぶ資料や情報などがありましたら、ぜひ事務局まで一報ください。よろしくお願ひします。

◎80周年までの道程(みちのり)、そして未来(これからは)もずっと照らしていく太陽と、先輩から後輩へのつながりをイメージし、真ん中に人をデザインしました。まわりの8つの炎で「80」を暗示しています。



シンボルマーク最優秀賞
3年F組 清水 香奈

80周年記念事業の進行報告

(平成13年3月まで)

シンボルマーク決定

在校生より募集 225名募集
最優秀賞 1名(図書券3万円) 優秀賞 2名(図書券1万円)
参加賞 223名(図書券500円) (平成12年11月24日表彰)

事業内容具体化する

—より多くの人に参加できる事業を—

- 文化事業：美術展・音楽会・スポーツ交流/式典日前後に設定予定
- 式典及び祝賀会：平成15年10月11日(土)/時間場所は検討中/祝賀会 参加費5,000円
- 80年記念史：読み易く、楽しい読みものとしての年史をモットーに構成予定
予約限定出版 1冊5,000円 刊行予定 平成15年10月

80年史編集委員会よりお知らせ

創立80周年に向けて、母校県陵の歴史を綴ろうと80年史編集委員会が組織されております。

編集委員会でできるだけ当時の様子を盛り込みたく、編集に当たっております。

つきましては、在学当時を偲ぶ資料や写真をご提供い

ただける方、さらにはエピソードなどを紹介いただける方がありましたら、事務局までご一報下さい。

松本県ヶ丘高等学校同窓会事務局

〒390-0812 松本市県3-7-7

TEL.0263-32-0666 FAX.0263-32-8199

県陵三一会

昭和31年 高8回卒

会 長 澤田吉雄
東京事務局 濱 一昌

☎・☎042-945-6555

花岡建築設計事務所

代表取締役 花岡 俊 (高7回卒)

(社)日本建築家協会会員
東京都新宿区坂町13番地6
〒106-0002 コンフォール四谷301号室
☎03-5362-5533 ☎03-5362-5534
E-mail hanaoka@mars.plala.or.jp



母校の校是に新風を

勝野 憲昭(高12回卒)

「質実剛健であれ」、「大道を闊歩せよ」、「弱音を吐くな」。

昭和35年に卒業、そして上京してから遂に40年もの歳月が流れてしまいったが、「泉陵」の同級生と会うのはいつも楽しい。本心に胸襟を開いて気兼ねなく楽しく酒が飲めるのはこの時ぐらいである。そして、飲んで二日酔いになってもほかの時と違って、ほとんど後悔しないのもこの時ぐらいである。まだ若いつもりで時として氣力の衰えを感じるこの頃(信じ難いことだが、今年で遂に「還暦」を迎える)、「泉陵」の友と会う楽しみは本当に何物にも代え難い。

この点、「会報あがた」平成12年6月10日号への百瀬靖夫氏のご寄稿の最後にある、「泉陵よ永遠であれ!」「我が友よ、死んでも死ぬな!」、「最後まで付き合え!」との言葉、特に最後の二行は強く胸に響いた。

「泉陵」の友と語る時、酒の肴に必ず出るのが当時教わった先生のこと、先生が授業の合間に語った印象的な話である。そして、そのようなことを話すとき、上の「校是」がいつも私の胸をよぎる。

今思えば当時の私にはこの三つのうち、特に最初の「質実剛健であれ」の意味が必ずしもハッキリ分かっていなかったようだ。今「大辞林」を見ると「質実剛健」とは「飾り気がなくまじめで、たくましく、しっかりしていること」とある。

実剛健であれ」を初め、どれをとっても立派な教えでこれに反対する人間などいようわけがない。考えようによっては、「無難」で「あたり前な」ことを三つならべたにすぎないと、とれないこともない。だから、我々にとって大切なのはこれらの言葉それ自体ではなく、これらの言葉に「自分自身のもの」として血肉を如何に与え、人生の糧にしてゆくかなのだと私は思う。

したがって、「質実剛健」も人によってその内容が異なって当然だし、自分独自の「質実剛健」を達成

息子が高校生になる……私が泉陵生だったころを思い出させてくれた。女子が本当に少なかった時代、本館から長い廊下を歩いて一番端の音楽室に着くまで、自分以外の女子には会えない……なんてザラだった。自分は自由だとか心かかっていた。

個性豊かな多くの友と過ごした三年間は本当に楽しんでいた。そんな中で私は学校の先生になるという幼い時からの夢をポイと捨てて音楽の道に生きることにしたのだ。さき

は入学したばかりの頃の応援練習だった。応援団の人達はバンカラで恐ろしかったし楽譜もなしに新曲を覚えるのはとても抵抗があった。曲が覚えられない私は、音楽部の先輩の応援歌教えてあげる……という誘いに乗って、音楽室の扉を開いた。中では「真間の手

する過程こそ、その人の「主体性」や「個性」が創造されてくるのだと思う。この点、この「校是」を本当に「自分自身の問題」として真剣に考えたことがなかったのは残念至極だ。

心理学者の河合雄雄氏が、今年1月5日付けの読売新聞(夕刊)で日本人の心的傾向について興味あることを言っている。つまり、同氏は、我々日本人が伝統的に「統一」とか「団結」といった観念を非常に重視してきたことを指摘し、このような観念はひとつのゴールに向かって全員が「一丸となって」邁進する時、目標達成に大きな役割を果たしてきたことを認めつつ、反面我々日本人は、伝統的な美德とされる「和」や「団結」を追求する過程で社会の「同質性」を求めるあまり、ややもすれば個人の「個性」や「多様性」

古奈というオペラの練習をしていた。上手だったとは記憶していないけれど、何だか不思議でもしろかった。自分が歌うわけでもないのに一ヶ月近く放課後毎日ただただ練習を見に行っていた。入部して一年生にも役がわり分け

られた時、風邪でその日休んだ私には何と主役の手古奈がまわって来ていた。歌ったことなんかなかった私に、先輩は容赦なく言った「声が変だよ」。……悩んだ。声を習いに行くことにした。始めて三ヶ月経った頃声楽の先生からもちと本格的に始めたら……と

の芽を摘み取ってきたのではないかと述べている。そして、我々の住む「世紀は、ITや通信技術等の著しい進歩により、他人との協調を最優先する「組織の自己」としての「個人」ではなく、自己主張のある「個人」の役割が著しく高まり、このような社会では、「団結」や「統一性」よりも「独自性」や「個性」が大きな役割を果たすことを予言している。すなわち我々の社会は「団結」、「統一」の時代から「個性」、「独自性」の時代へと移行しつつあるのだというのである。

「質実剛健であれ」、「大道を闊歩せよ」、「弱音を吐くな」。新世紀に当たり我我もこの古き「校是」に「自分独自のもの」として新たな生命を与え、母校に「新風」を吹き込みたい。

言われ、同時に音楽部OBの指揮者S先輩からと、作曲家の叔父からも「音楽大学をめざせ」と背中を押してもらった。すっかりその気になった。それからは大変だった。毎月学校休んで去大の教授に声楽を、ウィーンから帰って来たばかりの美しいピアニストの元でピアノをレッスンしてもらったことになった。物理の時間には「コンピュータ」を数学の時間には巻舌の練習をしていた。こんなに成績が下がったのはあんなに高い声を出すから悩みそがおいしくなかったからだ。」とT氏に言われたりもした。いろいろな事があったけれど、今だに声楽……を続けているのは泉陵で「歌」と出会ったから。「弱音を吐くな」「大道を闊歩せよ」「質実剛健」とたたきこまれたからかもしれない。



稲葉美和子

(高26回卒)【金原】

「歌」の音楽

歌」の音楽

歌」の音楽

弁社会保険労務士事務所

弁 隆三郎(高10回卒)

048-781-3691

URL : www2.ocn.ne.jp/~r-ben
e-mail : ben@seagreen.ocn.ne.jp

信州をベースに東京へシフトする
シニアライフ マネージメント

松本県ヶ丘高校東京同窓会

副会長 桐原 俊文
(高7回卒)

〒381-0016 長野市南堀 45-36
TEL&FAX 026-243-4488

塚原豊喜法律事務所

弁護士 塚原 豊喜(中14回卒)

事務所
〒101-0038
東京都千代田区神田美倉町10番地
共同ビル4階45号
☎03-3251-5965 ☎03-3256-3997
自宅
〒167-0034
東京都杉並区桃井3-3-3 ☎03-3390-5911



私の原点は昭和にあった

宮沢 利昭(高9回卒)

二月十二日にTBSから放送さ

れた月曜ドラマスペシャル「風立ちぬ」で十数年続いた向田邦子ドラマは終了した。この間、美術で番組作りに携わって来た私にとって淋しさは拭いきれない。母と女の子三人のごく平穏な日常生活の場面からドラマは始まるのだが、五年前に長女の夫が突然家から姿を消していた、話は進むにつれてわかって来るのだが、二女が長女の夫を好きになってしまい、それに感ずいた母親の心遣いからであった……。今迄に放送された「夜中の薔薇」「父の詫げ状」昨年の正月に放送された「あ、うん」等向田ドラマの根底に流れているものは日本人がかつて持っていたいたゆったりとした情の厚い心遣いである。時代背景は昭和十年から戦争をはさんだ二十二、三年で、今では東京にあまりみられなくなった縁側と床の間のある仕舞屋が舞台となつた。私もそんな時代に生まれ育つていたので懐かしさを越えて共感を持つて仕事をし来た。

りまえのように置いてある。向田ドラマを見ていて物質的には豊かになつたものの失つて来たものも多い事に気がつく。松本県ヶ丘高校に通っていたのは昭和三十年から三十二年で、同学年には画家を志して美術の部室に入り浸っていた仲間が五人居た、私もその一人が高島仁先生に絵を学んだ、先生の画紙に向いリズムミカルに運ぶ筆さばきに心引かれたこと、「絵を描いてみないか」と勧められたひと言で私の人生が決まつてしまつたような気がする。かつて志した同じくした仲間は画家、グラフィックデザイナー、TV美術デザイナー

県陵そして現在の生活あれこれ

小野重武(高3回卒)

私の県陵での生活は、旧制中学、新制中学そして新制高校の激動の六年間です。旧制中学ではすべてが戦時体制一色でした。入試の口頭試問の中で「八紘一宇」についての出題が何故か脳裏に強く残っており、上級生は校章を縫いつけた戦闘帽を被っていました。寒風が吹きすさぶ中、全校生徒が上半身裸になり、寒風まさをし



心身を鍛えたことを覚えており

ます。終戦後、新制高校の発足に当たり、学校名、校章、学帽の白線等について活発な話し合いがなされました。校章については、アルペン章をそのまま継承し、「高」を山小屋のイメージにデザインしたようです。学帽に二本の白線を付けることについては、生徒総会で大へんな激論が交わされました。賛成多数で現在のようなかたち

になりましたが、当時の県陵生には隣の旧制松本高校への憧れが大きかったことの表れであつたと思います。

創立以来始めて野球部が誕生しました。狭い校庭はサッカー部の共有で、練習には大へん苦勞しているようでした。そうした悪条件の中で対松商戦に勝利したこともありました。

高校二年生への進級の際に、一年生に女子学生が三十人程入学してきました。驚きと同時にまばゆく感じたものでした。

「光陰矢のごとし」卒業以来、長く短い五十年が過ぎ去りました。三陵会より卒業五十周年記念事業の案内を頂き、恩師そして六年間机を並べて学んだ旧友との再会を楽しみにしております。

現在、私は二つの事に挑戦しております。一つは、白日会の先生の指導を受けながら油彩画の制作に熱中しております。大胆な筆使いと、上へ上へと絵の具を重ねながら追求していく感触に、すっかりとりこになってしまいました。他の一つは、体力づくりを兼ねて、菜園づくりに取り組んでおります。偶にビニルハウスも作りました。まき付けの時期、土質と肥料のやり方、害虫や連作の害対策など、なかなか頭のいる仕事です。収穫したばかりのありのままの素朴な野菜を絵にするもの楽しみのひとつになっております。

宇宙 一に何ぞ悠たる
人生 百に至ることまれなり
酒中 深味有り
しばらく共に此の飲を飲しまん

宮西酒店

浅野二郎(高23回卒)
長野県松本市大字島立3298
TEL&FAX 0263-47-1019

医療法人

平沼歯科医院

理事長 平沼 光守 (高23回卒)

〒390-0806 長野県松本市女鳥羽 2-1-3
TEL.0263-34-3111 FAX.0263-36-3643

●アルペン会ゴルフコンペ報告●

第44回 平成12年10月26日(休)越生ゴルフ倶楽部

参加者 43名(ゲスト1名) 天候 快晴
 優勝 田口 丈彦(高17回卒) グロス83 ネット69.8
 準優勝 増沢 昇(高14回卒) グロス84 ネット70.8
 B・G 田口 丈彦(高17回卒) グロス83

第45回 平成13年4月12日(木)東京国際カントリークラブ

参加者 66名(ゲスト3名) 天候 晴・曇
 優勝 田口 丈彦(高17回卒) グロス81 ネット67.8
 準優勝 中町 正幸(高8回卒) グロス92 ネット70.4
 B・G 中沢 正敏(高9回卒) グロス73

参加者募集

第46回アルペン会

アルペン会の開催日程は下記の通りです。
 エントリー希望者は下記へ連絡下さい。

- 開催日 平成13年10月18日(木)
 ○ゴルフ場 武蔵富士カントリー倶楽部
 埼玉県比企郡鳩山町小用1026
 関越道鶴ヶ島ICより15分

申込先: 濱 一昌(高8回卒)

FAX・電話: 042-945-6555 E-mail: tokorohama@aol.com

稲葉美和子さん出演のコンサートのお知らせ

●「11人のコンサート」JR西国分寺・いずみホールにて

7月19日(木)19:00開演 全自由席 2000円
 ヴェルディ作曲 オペラ「リゴレット」より
 “慕わしき御名”他をうたいます。

●CDがリリースされました。

「稲葉美和子'98ソプラノリサイタル」です。

1998年に松本音楽文化ホールで催したリサイタルのライブ録音です。県陵の皆さまには、2700円のところ2500円で。
 チケット、CDとも042-384-0687(稲葉・高26回卒)まで、ご連絡ください。

【編集後記】
 会報第二十三号の編集は二十一世紀の幕開けと共にスタートしました。記念すべき新世紀の第一歩として発行できることを、編集に携わった者としてとても幸運に思います。この会報が同窓生の絆がますます深まることに繋がればなお嬉しく思います。約四ヶ月に渡る発行準備期間中、同期の実行委員、広報編集委員との交流、松本の愛のリレーでの三十年ぶりの恩師や級友との再会など、言いようのない楽しいことがたくさんありました。またその間、諸先輩方からいただいた温かい励ましの言葉、貴重な意見に心からお礼申し上げます。発行にあたり、寄稿いただいた全ての方々、企業・協賛広告の掲載でご支援をいただいた先輩並びに後輩の皆様には心から感謝致します。六月九日の東京同窓会に多くの同窓生に参加していただけることを願ってやみません。(晃木)

いよいよ東虹展の開催が間近に迫りました!!

第3回東虹展を6月10日(日)より16日(土) 有楽町駅の東京交通会館ビル・ギャラリーエメラルドルームで開催されます。絵画、彫刻、イラストレーション等バラエティーに富み、個性豊かな作品が展示されます。是非御高覧たまわりますよう御案内申し上げます。

尚作品は販売も致します。特に同窓会の皆様にはよりリーズナブルな価格を考えています。

●出品者

栗田浩 和瀧利清 金田全央 宮沢利昭 柳沢重子
 丸山雅秋 山崎豊三 中村茂幸 百瀬太虚

東虹会は県ヶ丘高校のOBの美術を愛する仲間の集まりです、どなたでも入会出来ますので御連絡下さい。

東虹会事務局 宮沢利昭

国分寺市本田2-8-36 TEL.042-324-7843

12年度の県陵レディースは絵手紙講習をしました!

10月20日(日)曜日。薄曇りの秋の1日を本年度は「絵手紙」に挑戦しました。参加者は1名を除いて残る全員が初体験。不安と期待を胸に細田工務店さんのりっぱな会議室に集まりました。福間先生の初心者への不安を解放するような御指導の仕方に、いつの間にか心が筆先に集中していました。「これでいいのかなあ。」「こんなもんかなあ。」等と重いながら筆を走らせ気がついた時はもうおしまいの時間になっていました。楽しい1日でした。参加して下さい。どうもありがとうございました。

まだ確定しておりませんが、本年度は10月か11月に「バス旅行」をしたいと思っています。バス1台を借りる予定ですが、人数が集まらない場合は実行できない可能性もありますので、大勢の方々の参加をお願い致します。

県陵レディース代表 久保田 昇子

ふるさと交流同窓会

開催日時/平成13年11月17日(土)13時 開催場所/松本市勤労者福祉センター 主催者/中信地区高校同窓会連合会、県高校同窓会東京連合会 開催内容/講演会 笠原貞行氏(県教育委員)演奏会 松本市民吹奏楽団、わさび一ず、山本美美枝さんの歌謡 参加費/金5,000円 宿泊場所/浅間温泉 いずみ荘 宿泊費/金15,000円 関連旅行/新宿~松本~白馬ジャンプ台、高瀬渓谷、高瀬ダム~鬼無里経由~更埴森將軍塚~長野道、上信越道、関越道~練馬 旅行費用/金13,000円 各高校への要請/参加人数 30名(内宿泊者12名)以上 記念名簿広告費 金50,000円

現在、詳細企画書について実行委員会で検討中であり、内容が一部変更になることがあります。

大都会のオアシス、憩い、くつろぎ、やすらぎの「雅」
 馬刺、蜂の子、おやきに舌づつみ、
 ふるさと信濃を思うひとときを。

小料理 雅

杉山雅子(鎌ヶ崎高出身)

〒160-0023東京都新宿区西新宿1-15-10
 エスアイビル3階

☎03-3348-6677 ☎03-3348-6670

政府登録ホテル 全日本シティホテル連盟会員

松本「リ」リストホテル

松本市深志 2-4-24 TEL.0263-33-9000 FAX.0263-33-6435
 ホームページ http://www.mcci.or.jp/www/mtourist

あがた ひと たち
 支配人 縣 秀 享 (高23回卒)



平成13年度事業計画案

新体制で4年を経過したので、現在の運営方法等の問題点、課題を洗い出し、その解決策を検討、研究し、次年度の計画に反映するように準備をする。

一箇所に負担が偏重しないように、それぞれの分担内容をよく理解し、幹事、代表幹事は、キチンとその役割を果たし、調和の取れた同総会活動が継続できるように努力する。

母校80周年に向けて、東京同総会としての役割と記念事業への支援策の具体化を早期にまとめ成功に向けた協力体制を構築して、本部同総会記念事業委員会を後援する活動

を立ち上げる。(記念式典は、平成15年10月11日母校新体育館予定)

各単位同総会においても活動内容、若年会員の掘り起こし等課題を持っているので県同窓連活動に参加する中で、情報や対策を共有し一歩一歩前進させていく。

また、本年中信同窓連が主体となり、松本市において第3回目のふるさと交流同窓会が計画され、その実行委員長を当校が受け持つ事になったので全面的なバックアップをすると共に、本部同窓会にも働き掛けを行い成功に向けて積極的な協力をを行うものとする。

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 平成12年度会計報告

自平成12年4月1日至平成13年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
適用	金額	適用	金額
前年度繰越金	436,696	総会関係支出	2,292,360
総会関係収入	2,571,000	総会会場費	1,960,385
総会費	1,871,000	総会諸雑費	97,890
寄付金	210,000	実行委員会活動費	234,085
雑収入	490,000	会報発行費用	953,781
会報発行収入	718,790	印刷代	453,379
広告料収入	680,000	通信費	442,430
寄付金	38,790	会議費	53,572
その他収入	672,440	雑費	4,400
会費勘定繰入	127,940	その他支出	1,022,628
本部助成金	100,000	幹事会会議費	575,888
幹事会費	368,000	渉外費	129,500
雑収入	76,500	活動交付金	100,000
名簿販売費	48,500	事務費	11,290
ビデオ斡旋料	28,000	通信費	18,420
銀行利子	168	諸雑費	7,530
		HP作成費	80,000
		実行委員会仮払金	100,000
		次年度繰越金	130,325
総合計	4,399,094	総合計	4,399,094

特別会計の部

1.同窓会会費特別勘定

終身会費	1,971,500円
年会費	547,000円
振込手数料(一)	28,710円
郵便為替貯金残高	2,489,790円
前年度分との合計残高	3,069,790円

2.特別基金勘定

大和銀行金銭信託の残高	1,518,418円
当期増加額は受取利息	3,942円

上記の通りご報告いたします。
平成13年4月5日

会計幹事 中町 正幸 百瀬 興一

会計監査報告書

会計幹事より提出を受けた会計帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であると認めます。

平成13年4月5日

会計監査 川上 文男 太田 均

会費振込みのお願い

会則第12条に基づき平成13年度の年会費の徴収を行っています。同封しました振込用紙をご利用のうえ6月末日までにお振込下さい。併せて終身会費も受付けております。なお総会当日も受付にて年会費の徴収も行いますので併せてご利用下さい。
年会費 2,000円 終身会費 20,000円 財政委員会

平成12年度次期繰越金内訳	富士銀行普通預金	111,425
	会計幹事手許現金	18,900
	合計	¥130,325

平成12年度事業報告

東京同窓会も新世紀に向かって、運営強化のために幹事会、代表幹事会を6回開催し積極的に推進してまいりました。第33回総会懇親会は高校卒業22回生が実行委員の中心となり、赤坂の全日空ホテルを会場に、初めての試みとして土曜日の開催に踏切りました。当日の参加者は198名と予想を若干下回りましたが盛會裡に終了しました。

今年から総会の案内に会報「あがた」を同封し、関東近県の約3,200名の同窓生に送付し、同窓会活動を皆さんに知ってもらうことが出来たと思います。これもひとえに、実行委員を始め各幹事の皆様並びに広告掲載等のご協力をいただいた会員のご支援の賜物と感謝申し上げます。何事も継続することが大事なことです。引き続き会報を毎年お手元に届く様に努力いたします。この会報は皆様の心かの援助により発行しておりますので、今後も皆様のご支援をよろしくお願い致します。

また、22回の実行委員の協力により、東京同窓会のホームページを開設できましたことは、IT新時代にマッチし好評を得ることが出来たと思います。

特に全国高校同窓会の先頭を切って開設したホームページ

です。同窓生の利用拡大活用を期待します。今年に入りリニューアルオープンしました。

一方、女性会員の組織化の一環として、絵手紙教室を開催し、着実に拡大を図っておりますので今後のご参加よろしく願います。

同好会活動では、春秋2回のゴルフコンペの開催、軟式庭球の組織化、美術同好会「東虹会」の活動等幅広い活動を進めております。

その他、本部同窓会、県同窓連への出席、中信同窓連では当番幹事としての役目も無事に終了しました。又、来期(平成13年11月)には中信同窓連の「ふるさと交流会」開催の準備のための委員会に参加、他校同窓会への出席等により懇親を深めて参りました。

同窓会活動に必要な財源の確保では、会費の納入を特にお願いしてまいりました。現在、終身会費納入者は123名、12年の年会費納入者は257名、一部の方からはご寄付を寄進していただきました、心から感謝申し上げます。引き続きよろしく願います。

幹事長 濱 一昌 (高校8回卒)